

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立湯涌小学校

①児童アンケート

(1)英語科(小学校5年生:令和8年1月実施) (％)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	14.0	43.0	43.0	0.0	0.0
問2	英語科の勉強は大切だ。	86.0	14.0	0.0	0.0	0.0
問3	英語科の授業の内容が分かる。	71.0	29.0	0.0	0.0	0.0
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	29.0	57.0	14.0	0.0	0.0
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
問6	アルファベットの大文字が書ける。	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問7	アルファベットの小文字が書ける。	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	86.0	14.0	0.0	0.0	0.0
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	29.0	71.0	0.0	0.0	0.0

(2)デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思う	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	42.0	27.0	28.0	3.0	0.0
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	40.0	33.0	22.0	6.0	0.0
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	31.0	34.0	29.0	6.0	0.0

②指導改善の具体策

【英語科】 引き続き聞くこと話すことに重点を置いて指導するとともに、友達同士のやり取り機会を増やし、楽しさを感じることができるように授業で支援を行う。英文を読むこと書くことについても段階的にステップアップできるよう指導する。
【デジタル科】 情報発信に課題が見られるため、デジタルで作成した資料を活用した発表の機会を、スモールステップで段階的に設定する。また、教師がデジタル機器やアプリを積極的に活用できるよう、担当者が支援体制を整え、活用を促進する。

③学校関係者評価

・県基礎学力テストの校内分析では、英語は他教科と比較しても良好な結果であり、高い成果が見られた。特に「書くこと」の力が育っていることが成果として挙げられた。今後の高校入試を見据え、長文読解への対応力をさらに高めていく必要があるとの意見があった。また、現在の成果を土台として、より発展的な内容へグレードアップしていくことが期待されている。「英語やデジタル分野において、子どもたちの力は非常に高い」との評価があり、地域としても子どもたちの成長を前向きに受け止めている様子がうかがえた。 ・AIに対して不安や抵抗感を抱く高齢世代もいることが話題となり、「AIに飲み込まれないようにする教育」が重要であるとの意見が出された。便利さだけでなく、誤情報やだまされる危険性についても学び、正しく判断する力を育てる必要性が確認された。AIについては「怖いかどうかを議論する段階ではなく、どのように調整し、適切に指示を出すかが重要である」との意見もあった。
--